

（1）大学・学科の設置理念

①大学

熊本大学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献する。

個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的な教育を行う。学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。

②学科等（認定を受けようとする学科等のみ）

佐賀大学教育学部共同教員養成課程・熊本大学教育学部共同教員養成課程の設置理念は、「幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点から理解し支援するための確かな専門性と、現代社会の複雑で多様な教育課題に柔軟に対応できるしなやかな実践力を兼ね備えた、人間性の豊かな学校教員の養成」である。

2大学の連携による共同教員養成課程で、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員免許を提供するとともに、共同によるそれぞれの強みと特色を活かし、相乗効果を高めながら質の高い教員養成を実現し、佐賀・熊本両県の義務教育段階及び高等学校段階の教育並びに幼児教育、特別支援教育を担うことができる教員を輩出する中核となることを目指す。具体的には、以下の学修成果（学位授与方針）を備えた人材を養成する。

- ① 現代社会における教育と子どもに関わる課題に取り組むために必要な、文化・社会・自然・生命に関する幅広い知識・技能を持ち、多面的な考察による解決法を提案できる。
- ② 教員として求められる読解力・文章表現力・数滴世より能力およびICTリテラシーや情報収集分析能力を身につけ、他者と協働しながら課題を解決するコミュニケーション力を備えている。
- ③ 学校教育、教職、教科についての基本的理論及び概念を説明することができ、子どもたちへの指導力の向上を常に探究し、子どもたちの発達段階や個性に応じた指導ができる。
- ④ 教科及び教科教育等に関する専門知識と技能を持ち、教育課題の発見と解決に取り組むことができる。
- ⑤ グローバル社会へ対応するための外国語運用能力や、異なる文化や価値観に対する多面的・多角的な思考力を教育活動に活かすことができる。
- ⑥ 学校教育の課題について地域社会と協働し、解決に取り組むことができる。
- ⑦ 教員としての倫理観と豊かな人間性を備え、使命感を持って子どもたちの成長を支えることができる。

また、熊本大学教育学部養護教諭養成課程の設置理念は、「広い視野、深い教養と思いやりの心をもった豊かな人間性を基盤とした養護教諭の養成」である。子どもと教育に対する幅広い関心を持ち、論理的思考力を身に付けた高度の教育実践力、子どもの心身の健康課題への対応力を備えた養護教諭の養成を目指す。具体的には、以下の学修成果（学位授与方針）を備えた人材を養成する。

- ① 発達途上にある子どもたちの体と心の問題に対して、専門的な立場から理解し、実践的に対応・指導できる。
- ② 健康管理、健康教育、健康相談活動に関する専門的知識を身に付け、課題を分析し、解決するために活用できる。
- ③ 子どもたちの体と心の諸問題を広い視野で多面的に捉え問題を解決することができる。
- ④ 学校内外の人たちと、協働しながら解決していくためのコミュニケーションができる。

(2) 教員養成の目標・計画

①大学

・教員養成の目標

熊本大学では、広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤として、様々な学問分野についての確かな専門知識、各教科の指導及び生活指導、学級経営等に関する専門的知識・技能、併せて生涯学び続けるための主体的な課題探究能力を有する教員を育成する。

・教員養成の計画

課程認定を受けたすべての学部において、教養教育科目、専門科目及び教職科目を通して、現代社会や地域の学校が抱える諸問題について深く学ぶ中で、教職への使命感や責任感、コミュニケーション能力、教員としての資質・能力について、以下のとおり育成する。

- 1 幅広い知識と高い教養によって、感性豊かで教養力に富み、総合的観点から物事を分析できる適切な指導力と対応力（カウンセラー等）の養成
- 2 自らの専門性を確立することによって、教科の教育目的を適切に児童、生徒に伝えることができる能力の育成
- 3 学校現場の諸問題に情熱を持って対応できる能力の育成
- 4 教師、保護者及び地域住民とのコミュニケーションがとれる社会性及び協調性の育成
- 5 児童、生徒に愛情を持つとともに、障害児教育や福祉及び高齢者問題等にも意欲的に取り組むことができる能力の育成

②学科等（認定を受けようとする学科等のみ）

・教員養成の目標

佐賀大学教育学部共同教員養成課程・熊本大学教育学部共同教員養成課程では、佐賀・熊本両県における教員養成を目的とする課程であるという設置趣旨を踏まえ、教員としての広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とし、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見すえながら、現代社会の変化に伴う様々な教育課題に応えることができる「しなやかな教師力」をもった学校教員を育成する。

熊本大学教育学部養護教諭養成課程では、発達途上にある子どもの心身の発育や健康問題を専門的立場から理解し、実践的な対応力を備えた養護教諭を養成する。

・教員養成の計画

佐賀大学教育学部共同教員養成課程・熊本大学教育学部共同教員養成課程では、1年次からの教職・教科の専門的な学修とともに、教育委員会等と連携して地域の学校現場を体験し、教育実習を重ねて実践的な力量を高められるカリキュラムを編成し、両大学の強み・特色を活かし

た相乗効果により、現代社会の変化に伴う様々な教育課題に対応可能な教員を養成する。小中連携教育コースにおいては小学校の教科担任制や中1ギャップなどに対応できる資質・能力を育成し、小学校教育主免専攻では小学校教諭一種免許状に加え所属教科の中学校教諭二種免許状、中学校教育主免専攻では所属教科の中学校教諭一種免許状に加え小学校教諭二種免許状を取得させる。教育支援探究コース・発達支援専攻においては小1プロブレムなどに対応できる資質・能力を育成し、小学校教諭一種免許状に加え幼稚園教諭二種免許状等を取得させ、特別支援教育専攻では支援を要する児童生徒への対応ができる資質・能力を育成し、小学校教諭一種免許状に加え特別支援学校教諭一種免許状を取得させる。

なお、熊本大学では、小中連携教育コース小学校教育主免専攻において、地域の学校におけるICTを活用した遠隔授業の方法や児童生徒の情報活用能力を育成する指導法など、ICT教育の最新事情にも触れながら、教員の仕事について学修する「地域教育実践プログラム」を実施する。学校推薦型選抜（地域枠）で入学する学生に対し、熊本県の学校教育の状況や県内各地域の小学校の魅力伝えることを目的とする、熊本県教育委員会と連携した講義（「くまもとの学び最前線」）や熊本県球磨郡山江村の小学校における宿泊型教育実習を通して、少子高齢化が進む地域での教育の実際（少人数指導、複式学級指導等）を経験させることにより、将来的に熊本県の各地域の創生に資する資質・能力の高い小学校教員を養成する。また、教育のグローバル化に対応する教員養成の取組みとして「国際教育実践プログラム」を実施する。学校推薦型選抜（国際枠）で入学する学生に対し、日本の学習指導要領に基づいて英語と日本語で教授するイマージョン教育を実践形式で学ばせるとともに、日本語を母体とした外国人子女への実践教育や本学教育学部附属小中学校国際クラスや熊本県市の外国人児童を受け入れている拠点校での教育実習等を経験させ、一連の教育実習の総仕上げとして、台湾（台北市）のバイリンガル教育学校での授業運営の方法について一週間程度学修する国際教育実践プログラムを履修させることにより、教育の国際化に対応した小学校教員を養成する。

熊本大学教育学部養護教諭養成課程では、養護教育コース養護教育専攻において、養護教諭に求められる資質能力を高めるために、健康相談活動を含む健康管理や健康教育に必要な知識・技術を修得する養護専門科目、及び発達途上にある子どもたちを専門的立場から理解し、教育方法等の理論と技術を習得する教職専門科目を学び、子どもの心身の健康問題への実践的な対応力を高められるカリキュラムを編成する。養護教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（保健）及び高等学校教諭一種免許状（保健）を取得させる。

（3）認定を受けようとする課程の設置趣旨（学科等ごとに校種・免許教科別に記載）

両大学の共同教員養成課程では、（1）及び（2）に記したとおり、令和の日本型学校教育を実現するために、地域の幼児段階、義務教育段階及び高等学校段階を支える資質・能力を備えた教員養成を目指している。そのため、以下の免許を取得するための教育課程を設置する。

・幼稚園教諭一種免許状

幼稚園教育要領では幼児期の教育の重要性が指摘され、幼少連携を図ることが求められている。幼稚園と小学校の接続期の園児・児童の特性を理解し、適切な教育を行える資質・能力を獲得するためにも幼稚園教諭のための教育課程を設置する。

・小学校教諭一種免許状

地域の義務教育を支える人材の育成は、両大学の教育学部のミッションであり、小学校

全教科を確実に指導できる力量とともに、児童の特性を理解し柔軟な教育を可能とする教育課程を設置する。

- ・中学校教諭一種免許状（国語）

小学校から高等学校までの一貫性に留意しつつ、中学校国語科の教科内容や指導方法について広く学び、質の高い授業実践力を備えた教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（社会）

人文・社会科学系の諸学問を総合的に学ぶとともに、社会科教員としての基本的な能力と資質を身につけ、社会科の学修を通して得られた実践力と豊かな人間性を備えた教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（数学）

数学は高度情報化社会の基盤であり、現代の課題における様々な場面での活用が期待されている。数学の本質を学ぶとともに、カリキュラム・教材・指導法等を通して教育としての数学のあり方を学び、学校現場で活躍できる能力を備えた教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（理科）

科学の役割がますます重要になる一方で、次世代を担う子どもたちの「理科離れ」が指摘されている。自然科学の専門的な能力を身につけるとともに、科学的思考力や問題解決能力を養うための授業のあり方等について学び、子どもたちに理科のおもしろさを伝えられる教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（音楽）

現在日本の抱える様々な問題を背景に、創造的心情、豊かな感受性と自己表現能力を育む「情操教育」の重要性が再認識されている。自ら音楽表現者の一人としてのコミュニケーション能力を身につけ、音楽の多様性を知り、それを伝達するのに必要な知識や技術を習得し、より実践的な音楽教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（美術）

人が社会で生きていく上で不可欠な創造性、主体性、個性、感性さらには豊かな情操を育むため、単に知識や技能を教えるのではなく、表現や造形活動を通して、生徒のこころの発達段階に応じた的確な支援ができる美術教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（保健体育）

子どもの健全な発達にとって、健康、そして運動は欠かすことのできないものであり、運動と理論の両面を理解することにより、運動の大切さや健康問題に関する意識を生徒に芽生えさせられるような実践指導力と豊かな人間性を兼ね備えた教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（技術）

科学技術やものづくり、環境教育や情報教育等の教育内容に密着したカリキュラム・教育方法について深く学び、これからの社会を豊かに生きるために必要な知識やスキルを身につけ、科学技術力や課題解決能力を備えた教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（家庭）

家族・家庭生活の多様化、社会のグローバル化や少子高齢化の進展、持続可能な社会の構築など、様々な変化する私たちの生活を総合的に検討し、個人・家族のよりよい生活を目指すために、家族・家庭や日常生活に関する知識や技能を学ぶと同時に、社会の変化に対応した課題を見出し、解決する能力を持つ教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（英語）

英語教育を通して国際化に貢献できる人材を輩出するため、英語4技能（聞く・話す・

読む・書く)を身につけると同時に、英語そのものに関する深い知識や英語をとりまく文化に関して深く学び、高い英語運用力と授業実践力を備えた英語教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（国語）

小学校から高等学校までの一貫性に留意しつつ、高等学校国語科の教科内容や指導方法について広く学び、質の高い授業実践力を備えた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（書道）

高等学校の芸術科（書道）の教科内容・カリキュラム・指導方法について広く学び、質の高い授業実践力を備えた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

歴史学・地理学の学修を通して得られた実践力を備えた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（公民）

法律学・経済学・社会学・哲学などの学修を通して得られた実践力を備えた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（数学）

数学は高度情報化社会の基盤であり、現代の課題における様々な場面での活用が期待されている。数学の本質を学ぶとともに、カリキュラム・教材・指導法等を通して教育としての数学のあり方を学び、学校現場で活躍できる能力を備えた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（理科）

物理・化学・生物・地学の自然科学の専門的な能力を深めるとともに、科学的思考力や問題解決能力を養うための授業のあり方などについて学び、自然科学の意義を伝えられる教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（音楽）

現在日本の抱える様々な問題を背景に、創造的心情、豊かな感受性と自己表現能力を育む「情操教育」の重要性が再認識されている。自ら音楽表現者の一人としてのコミュニケーション能力を身につけ、音楽の多様性を知り、それを伝達するのに必要な知識や技術を習得し、より実践的な音楽教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（美術）

人が社会で生きていく上で不可欠な創造性、主体性、個性、感性さらには豊かな情操を育むため、単に知識や技能を教えるのではなく、表現や造形活動を通して、生徒のこころの発達段階に応じた的確な支援ができる美術教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（保健体育）

共生社会の基盤として、運動・スポーツに関する知識や技術を学ぶことが期待されている。そこで、生徒が生涯にわたり心身の健康の保持・増進ができるようになるために、また、豊かなスポーツライフが実現できるようになるために必要な専門的な知識や技術を有し、より実践的な指導力と豊かな人間性を兼ね備えた教師の養成を目指す。保健体育の専門的知識を深め、実践的な指導力を備えた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（工業）

科学技術やものづくり、環境教育や情報教育等の教育内容に密着したカリキュラム・教育方法について深く学び、必要な知識やスキル、高度な実践力を身につけた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（家庭）

家族・家庭生活の多様化、社会のグローバル化や少子高齢化の進展、持続可能な社会の構

築など、様々に変化する私たちの生活する社会を総合的に検討し、個人・家族のよりよい生活を目指すために、家族・家庭や日常生活に関する知識や技能を学ぶと同時に、社会の変化に対応した課題を見出し、解決する能力を持つ教師の養成を目指す。

- ・高等学校教諭一種免許状（英語）

英語教育を通して国際化に貢献できる人材を輩出するため、英語4技能（聞く・話す・読む・書く）を身につけると同時に、英語そのものに関する深い知識や英語をとりまく文化に関して深く学び、高い英語運用力と授業実践力を備えた英語教師の養成を目指す。

- ・特別支援教諭一種免許状（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）

特別支援学校のみならず、特別支援教育の対象となる子どもは、通常の学級の中にもかなり在籍しており、これからの学校教員は特別支援教育についての資質を兼ね備えている必要がある。インクルーシブ教育の充実・拡大が要請される現代において、特別支援教育に関する高度な実践力を身につけた教師の養成を目指す。

熊本大学の養護教育養成課程では、(1)及び(2)に記したとおり、学校教育を通して健康をサポートするために、健康管理や健康教育の推進に必要な「健康」についての知識を高め、問題解決できる資質・能力を備えた教員養成を目指している。そのため、以下の免許を取得するための教育課程を設置する。

- ・中学校教諭一種免許状（保健）

保健科教員としての力量を有し、学校現場において児童・生徒の心身の健康教育を行う中心的な役割を担う教師の養成を目指す。

- ・高等学校教諭一種免許状（保健）

保健科教員としての力量を有し、学校現場において児童・生徒の心身の健康教育を行う中心的な役割を担う教師の養成を目指す。

- ・養護教諭一種免許状

子どもの心身の健康課題に取り組むための健康管理・県境教育に関連した、幅広い看護、医学、公衆衛生、保健、健康相談等の基本的知識と技術を身につけた養護教諭の養成を目指す。

様式第7号イ

I. 教職課程の運営に係る全学的組織及び各学科等の組織の状況

(1) 各組織の概要

①

組織名称：	熊本大学教務委員会
目的：	学士課程教育、大学院教育（大学院教養教育を含む。）、教養教育の実施に関する事項、その他教育に関し委員長が必要と認めた事項の審議
責任者：	委員長（大学教育統括管理運営機構副機構長）
構成員（役職・人数）：	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学教育統括管理運営機構副機構長 2 教養教育実施本部長 3 各学部（医学部にあつては、医学科及び保健学科）、情報融合学環、大学院教育学研究科及び大学院各教育部の教務に関する委員会の委員長 各1人 4 大学教育統括管理運営機構から選出された教員 1人 5 教育研究支援部長、生命科学系事務部長及び学生支援部長 6 学生支援部教育支援課長 7 その他委員長が必要と認めた者
運営方法：	年6回程度開催。委員の過半数の出席を要し、議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。教職課程を含むカリキュラムに関する重要な事項について審議を行い決定する。

②

組織名称：	熊本大学大学教育統括管理運営機構附属教職総合センター教職運営委員会
目的：	教職課程に係る企画、立案及び実施に関すること、教職課程の内部質保証に関すること、教職課程のカリキュラム編成方針の策定に関すること、その他教職課程に係る実務に関し必要な事項の審議
責任者：	委員長（大学教育統括管理運営機構附属教職総合センター副センター長のうちから大学教育統括管理運営機構附属教職総合センター長が指名した者）
構成員（役職・人数）：	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学教育統括管理運営機構附属教職総合センター副センター長 2 教員養成部門長 3 地域連携・教職支援部門長 4 文学部及び理学部の副学部長のうちから選出された者 各1人 5 工学部の副学部長又は情報融合学環の教員のうちから選出された者 1人 6 大学院教育学研究科の教育学講座の教員のうちから選出された者 1人 7 大学院教育学研究科の心理学講座若しくは教職教育講座又は大学院人文社会科学研究部の心理学分野の教員のうちから選出された者 1人 8 その他委員長が必要と認めた者
運営方法：	年5回程度開催。委員の過半数の出席を要する。議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

③

組織名称：	熊本大学大学教育統括管理運営機構附属教職総合センター教員養成部門専門委員会
-------	---------------------------------------

様式第7号イ

目 的：	開放制学部教育実習及び介護等体験に関する計画及びその実施に係る連絡調整に関する事、開放制学部教育実習の成績評価基準及び成績認定案に関する事、その他開放制学部教育実習及び介護等体験の推進に関し必要な事項の審議
責 任 者：	委員長（教員養成部門長）
構成員（役職・人数）：	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教員養成部門長 2. 文学部及び理学部から選出された教員 各2人 3. 工学部又は情報融合学環から選出された教員 2人 4. 大学院教育学研究科の教育学講座の教員のうちから選出された者 1人 5. 大学院教育学研究科の心理学講座若しくは教職教育講座又は大学院人文社会科学研究部の心理学分野の教員のうちから選出された者 1人 6. その他委員長が必要と認めた者
運営方法：	年2回程度開催。委員の過半数の出席を要する。議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

④

組織名称：	熊本大学大学教育統括管理運営機構附属教職総合センター地域連携・教職支援部門専門委員会
目 的：	教職への就職に係る関係機関との連携に関する事、教職指導の計画及び運営に関する事、その他地域連携及び教職支援に関し必要な事項の審議
責 任 者：	委員長（地域連携・教職支援部門長）
構成員（役職・人数）：	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域連携・教職支援部門長 2. 文学部及び理学部から選出された教員 各2人 3. 工学部又は情報融合学環から選出された教員 2人 4. 教育学部厚生・就職委員会委員長 5. その他委員長が必要と認めた者
運営方法：	年2回程度開催。委員の過半数の出席を要する。議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

⑤

組織名称：	熊本大学大学教育統括管理運営機構附属教職総合センター教職企画調整部門教職科目連絡会
目 的：	教職課程を置く学部、学環及び大学院における教職科目その他教職課程（課程認定を含む。）に関する学部等間の連絡調整を行う。
責 任 者：	座長（大学教育統括管理運営機構附属教職総合センター副センター長のうち大学教育統括管理運営機構の専任教員である者）
構成員（役職・人数）：	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学教育統括管理運営機構附属教職総合センター副センター長のうち大学教育統括管理運営機構の専任教員である者 2. 文学部、教育学部及び理学部から選出された教員 各1人 3. 工学部又は情報融合学環から選出された教員 1人 4. 大学院教育学研究科の教育学講座から選出された教員 1人 5. 大学院教育学研究科の心理学講座若しくは教職教育講座又は大学院人文

様式第7号イ

学部の開講科目「熊本・学びの最前線」は熊本県・市教育委員との連携により実施している。具体的には、学部教員及び県内の教育委員会指導主事によるオムニバスの授業を実施している。

(2) 学校現場における体験活動・ボランティア活動等

取組名称： ① 教職実践基礎セミナー②ユア・フレンド事業

連携先の連携方法： ① 熊本市教育センター、②同総合支援課と、学部の各事業担当で年1回の会議及び電話・メール等により連絡を行う。

具体的な内容： ① 熊本市教育委員会と連携し、連携協力校での授業観察を実施、②熊本市教育委員会との連携事業として、不登校児童生徒の家庭や学校等に学生を派遣している。

Ⅲ. 教職指導の状況

学部全体の教職指導は、教育学部教務委員会が担当し、各課程・講座における直接の指導は教務委員を中心に実施する。学部1年次に各課程・講座において、教職課程のガイダンスを行う。また、同1年次「教職実践基礎セミナー」の講義において、学部教員がチューターとして関わり、教職に関する理解・意欲の向上や各種相談活動を行う。

退職校長2名による「教育学部学生相談支援室」を常設し、教職に関する相談や支援を行う。

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：幼一種免）

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の歴史や発達の過程に関する知識など、教育課程に関する事項を理解する。 ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。 ・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。 ・教育する立場にたって学校現場を体験し、子ども・学校理解をはかり、教師の職務を理解する。 ・教員の視点に立って子どもと教育現場を体験的に理解するとともに、教職キャリア形成への意識を持つ。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・小学校の教科内容を理解する。 ・幼・小・中・特支の学校現場を体験し、教育的コミュニケーション能力の育成をはかる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程と教育課程の意義及び編成との概要について理解する。 ・幼児の発達や幼児教育の理論に関してより多面的に理解する。 ・保育内容に関する基本的な考え方や指導の方法を理解する。 ・初等授業の実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・授業以外の場面を含めた幼児・児童・生徒と教員・学校の様子について体験的に理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・指導案をチームを組んで作成し、授業を行う。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。 ・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。 ・教科に関する実験、実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけての実践力を養う。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・幼児の心身の発達に関する現代的教育課題等について理解する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・幼児に関する理論や実践の場を通じて、幼児やその教育に関する理解を深める。 ・幼稚園教育実習や保育ボランティアを通して、具体的な幼児指導について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。 ・これまでの研究成果を踏まえて、幼児の心理や教育に関して一段と理解を深める。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：幼一種免）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		保育内容の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	領域に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	幼児教育と保育の原理			体育・スポーツ科学a	
		教育原理A(理念及び思想)			英語A-1	
		教育原理B(歴史・制度)				
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	幼児と人間関係		体育・スポーツ科学b	熊本・学びの最前線
		現代の教育と社会B	幼児と環境		英語A-2	
			幼児と言葉		ICTリテラシー	
			幼児と表現 I			
			保育内容(環境)			
			保育内容(人間関係)			
			保育内容(言葉)			
			保育内容(表現 I)			
2年次	前期	発達心理学	幼児と健康		暮らしの中の憲法	
		幼児理解の理論と方法	幼児と表現 II			
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	保育内容(健康)			
		教育方法学	保育内容(表現 II)			
		教育とICT活用	保育表現演習I(言語表現)			
			保育表現演習II(運動表現)			
			保育表現演習III(造形表現)			
			保育表現演習IV(リズム表現)			
	後期	教育課程論				
		道徳教育の理論				
		道徳教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
3年次	前期	特別支援教育の基礎				
		特別支援教育の展開				
		教育相談の理論及び方法				
	後期	事前・事後指導		人権教育論		
		初等教育実習 I・II		教育評価		
				教職保健		
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習			卒業研究	

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：小学校一種免許状）

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・国語、音楽の小学校教科内容の基礎について理解する ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・外国語、家庭科の小学校教科内容の基礎について理解する。 ・小学校の国語、音楽の指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・算数、体育、書写、生活の小学校教科内容について理解する。 ・小学校の外国語、家庭科の指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・社会、理科、図画工作の小学校教科内容について理解する。 ・小学校の算数、体育、生活科の指導法の目標・内容・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・小学校の社会、理科、図画工作の指導法の目標・内容・評価を理解し、学習指導を構想する。 ・各教科の指導に関する探究学習を通じ、教材研究能力の向上を図り、教育実習に向けた準備を行う。 ・教育実習に取り組み、小学校各教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的教育課題に関する探究学習を通じ、学校教育の先端的取り組みの内容や課題について理解する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ(教諭)

＜教育学部共同教員養成課程＞(認定課程:小学校一種免許状)

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目 及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	初等国語		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	初等音楽		英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	初等外国語		体育・スポーツ科学b	熊本・学びの最前線
		現代の教育と社会B	初等家庭		英語A-2	
		初等国語科指導法Ⅰ			ICTリテラシー	
		初等国語科指導法Ⅱ				
		初等音楽科指導法Ⅰ				
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	初等算数		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	初等体育			
		教育とICT活用	初等書写			
		初等外国語科指導法Ⅰ	初等生活			
		初等外国語科指導法Ⅱ				
		初等家庭科指導法Ⅰ				
		初等家庭科指導法Ⅱ				
	後期	教育課程論	初等社会			
		道徳教育の理論	初等理科			
		道徳教育の実践	初等図画工作			
		生徒指導と学校カウンセリング				
		初等算数科指導法Ⅰ				
		初等算数科指導法Ⅱ				
		初等体育科指導法Ⅰ				
3年次	前期	特別支援教育の基礎				小学校教科指導探究
		特別支援教育の展開				
		教育相談の理論及び方法				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		初等図画工作科指導法Ⅰ				
		初等図画工作科指導法Ⅱ				
		初等社会科指導法Ⅰ				
		初等理科指導法Ⅰ				
		初等社会科指導法Ⅱ				
	初等理科指導法Ⅱ					
後期	事前・事後指導		人権教育論		初等教育課題探究	
	初等教育実習Ⅰ・Ⅱ		教育評価			
			教職保健			
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習			卒業研究	

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（国語））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・日本語、日本文学、漢文学、書写等の教科内容の基礎について理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う ・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。 ・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・国語科教育の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・国語科教育の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、国語科教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。 ・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、国語科教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免(国語)）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期						
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)			体育・スポーツ科学a		
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1		
		教育心理学A(学習)					
		教育心理学B(発達)					
		教職入門					
	後期	現代の教育と社会A	書写			体育・スポーツ科学b	
現代の教育と社会B					英語A-2		
					ICTリテラシー		
2年次	前期	中等国語科指導法Ⅰ	国語学概説Ⅰ			暮らしの中の憲法	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	国文学概説				
		教育方法学	国文学講義Ⅰ(古典)				
		教育とICT活用	漢文学演習Ⅰ				
	後期	中等国語科指導法Ⅱ	国語学概説Ⅱ				
		国語科教育学演習A	国語学演習Ⅰ				
		教育課程論	国文学講読(古典)				
		道徳教育の理論	漢文学概説Ⅰ				
		道徳教育の実践					
		生徒指導と学校カウンセリング					
3年次	前期	中等国語科指導法Ⅲ	国語学概説Ⅲ				
		国語科教育学演習B	国文学講義Ⅱ(近現代)				
		特別支援教育の基礎	漢文学概説Ⅱ				
		特別支援教育の展開					
		教育相談の理論及び方法					
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	後期	中等国語科指導法Ⅳ	国文学特別演習Ⅰ(近現代)	人権教育論			
		国語科教育学演習C	国文学特別演習Ⅱ(近現代)	教育評価			
		国語科教育学演習D		教職保健			
4年次	前期	事前・事後指導					
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ					
		教職実践演習					
	後期	教職実践演習				卒業研究	

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（社会科））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。 ・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。 ・社会科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・社会科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・社会科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・社会科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、教育相談(カウンセリング含)に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う ・教育相談(カウンセリング含)に関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験、実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。 ・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・社会科を構成する内容について、教育の場で活かすことができるようになる。 ・ワークショップ型の授業実践を試みることができるようになる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・社会科を構成する内容について、より深く理解・分析し、教育の場で活かせる力量を育成する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・社会科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。 ・社会科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（社会科））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	日本史概説		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	法学概説		英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	人文地理学概説		体育・スポーツ科学b	
	現代の教育と社会B	倫理学概説		英語A-2		
		世界史概説		ICTリテラシー		
2年次	前期	中等社会科指導法(社会・公民) I	自然地理学概説		暮らしの中の憲法	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導	経済学概説			
		教育方法学	地誌学概説			
		教育とICT活用	応用倫理学概説			
	後期	中等社会科指導法(社会・地理歴史) I	政治学概説 I			
		教育課程論				
	道徳教育の理論					
	道徳教育の実践					
	生徒指導と学校カウンセリング					
3年次	前期	中等社会科指導法(社会・公民) II	日本史特講 I(史料論)			
		中等社会科指導法(社会・地理歴史) II	世界史特講 I(中国史)			
		特別支援教育の基礎	日本史演習 I(地域史調査)			
		特別支援教育の展開	人文地理学特講			
		教育相談の理論及び方法	政治学演習 I			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	後期		日本史演習 II(中世文書)	人権教育論		
			日本史調査実習	教育評価		
			自然地理学特講I	教職保健		
			地理学調査実習			
		経済学特講				
		地域調査実習				
4年次	前期	事前・事後指導	日本史演習 III(荘園調査)			
		中等教育実習 I・II				
		教職実践演習				
	後期	教職実践演習	日本史演習 IV(近世文書)			卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中学校一種免許状（数学））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。 ・数学科における教科内容の基礎について理解を深める。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・数学科における教科内容の基礎について理解を深める。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・数学科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・数学科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・数学科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・数学科の授業についての認識を深め、学習指導要領を理解し、教育実習の準備に入る。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・数学科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・数学科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・数学科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、数学教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・数学科の教科内容と数学科指導法の理解をもとに、数学教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中学校（数学）一種免許状）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	代数学基礎		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	解析学基礎		英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	代数学序論		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	幾何学序論		英語A-2	
		解析学序論		ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	代数学概論		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	幾何学概論			
		教育とICT活用	解析学概論			
		中等数学科指導法Ⅰ	コンピュータ			
	後期	教育課程論	代数学講義			
		道德教育の理論	幾何学講義			
		道德教育の実践	解析学講義			
		生徒指導と学校カウンセリング	確率統計学			
		中等数学科指導法Ⅱ				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	代数学特論			
		特別支援教育の展開	幾何学特論			
		教育相談の理論及び方法	解析学特論			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	応用数学特論			
		中等数学科指導法Ⅲ				
	後期	事前・事後指導		人権教育論		数学特論
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ		教育評価		
		中等数学科指導法Ⅳ		教職保健		
4年次	前期	教職実践演習			数学研究Ⅰ	
					数学教育学研究Ⅰ	
	後期	教職実践演習				卒業研究
						数学研究Ⅱ
						数学教育学研究Ⅱ

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（理科））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。 ・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。 ・理科全般を学ぶ上での基盤となるコンピュータ活用による解析法を習得する。 ・物理学・化学・生物学の基礎知識を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・自然現象との関連など理科に関する一般知識を習得する。 ・物理学・化学・生物学・地学に関する基礎知識を習得する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・初等授業の実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・物理学・生物学に関する実験技法を習得する。 ・生物学・地学に関する基礎知識を習得する。 ・物理学・化学に関する専門知識を習得する。 ・理科教育法について基礎的知識を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・化学・地学に関する実験技法を習得する。 ・物理学・生物学・地学に関する専門知識を習得する。 ・理科教育法(教材・教具・コミュニケーション等)についての基礎知識や技法を習得する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。 ・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。 ・カウンセリングに関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけての実践力を養う。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・物理学・化学・生物学・地学に関する専門知識を習得する。 ・理科教育法(教材・教具・コミュニケーション等)についての応用知識や技法を習得する。 ・物理学・化学・生物学・地学に関する実験技法を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・児童生徒の心身の発達に関する現代的な教育課題等について理解する。 ・物理学・化学・生物学・地学に関する発展的内容を習得する。 ・理科教育法(教材・教具・コミュニケーション等)についての応用知識や技法をより高度な水準で習得する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的な教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的な教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（理科））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	基礎物理学A		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	基礎化学A		英語A-1	
		教育心理学A(学習)	基礎化学B			
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	理科教育実践入門	基礎生物学A		体育・スポーツ科学b	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	基礎生物学B		英語A-2	
		教育方法学	基礎地学A		ICTリテラシー	
		教育とICT活用	基礎地学B			
			基礎物理学B			
		基礎物理学演習				
2年次	前期	中等理科指導法Ⅰ	物理学Ⅰ		暮らしの中の憲法	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	化学Ⅰ			
		教育方法学				
		教育とICT活用				
	後期	中等理科指導法Ⅱ	物理学Ⅱ			
		教育課程論	生物学Ⅰ			
		道德教育の理論	地学Ⅰ			
		道德教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
3年次	前期	中等理科指導法Ⅲ	生物学Ⅱ			
		特別支援教育の基礎	地学Ⅱ			
		特別支援教育の展開	物理学実験A			
		教育相談の理論及び方法	物理学実験B			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	化学実験A			
			化学実験B			
			生物学実験A			
			生物学実験B			
	後期		地学実験A			
			地学実験B			
		中等理科指導法Ⅳ	化学Ⅱ	人権教育論		理科基礎研究
				教育評価		
				教職保健		
4年次	前期	事前・事後指導				
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ				
		教職実践演習				
	後期	教職実践演習			卒業研究	

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（音楽））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。 ・ピアノや声楽、及び音楽理論やソルフェージュなどの基礎的内容の学修を通じて、これから音楽科教育を学ぶための基礎力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・ピアノや声楽、及び音楽理論やソルフェージュに加え音楽史の基礎的内容の学修を継続し、音楽科教育を学ぶための基礎力を向上させる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・音楽科教育を学ぶための基礎力を向上させるとともに、作曲法の基礎を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・音楽の知識と技能両面の能力をさらに発展させるとともに、合唱や合奏の指導力を習得する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。 ・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。 ・カウンセリングに関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけての実践力を養う。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・音楽の知識と技能の実践的能力を向上させるとともに、音楽科教育の理論と方法を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・音楽の知識と技能の実践的能力を更なる深化させるとともに、音楽科教育における実践力と応用力を身に付ける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・これまで学んできた音楽の専門的知識や技能を総合し、学校教育現場での実践力へと発展させる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。 ・音楽および音楽教育に関する研究課題を明確にし、これまでの学修成果を統合した卒業研究をまとめる。

様式第7号ウ(教諭)

<教育学部共同教員養成課程>(認定課程:中一種免(音楽))

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	ソルフェージュ基礎		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	声楽基礎		英語A-1	
		教育心理学A(学習)	ピアノ基礎Ⅰ			
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	ソルフェージュ応用B		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	声楽基礎Ⅲ		英語A-2	
			ピアノ基礎Ⅲ		ICTリテラシー	
			器楽基礎(和楽器を含む)			
			音楽理論BⅠ			
		音楽史Ⅰ				
2年次	前期	中等音楽科指導法Ⅰ	声楽基礎Ⅳ		暮らしの中の憲法	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	ピアノ実技Ⅰ			
		教育方法学	音楽理論A			
		教育とICT活用	作曲法			
			日本・民族音楽概説			
	後期	中等音楽科指導法Ⅱ	声楽基礎Ⅴ			
		教育課程論	合唱			
		道徳教育の理論	ピアノ実技Ⅱ			
		道徳教育の実践	合奏			
		生徒指導と学校カウンセリング	音楽理論BⅡ			
		音楽史Ⅱ				
3年次	前期	中等音楽科指導法Ⅲ	声楽実技Ⅰ			実技系教科指導探究
		特別支援教育の基礎	ピアノ実技Ⅲ			
		特別支援教育の展開	伴奏法演習Ⅰ			
		教育相談の理論及び方法	指揮法Ⅰ			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	作曲演習Ⅰ			
			音楽学演習Ⅰ			
	後期	中等音楽科指導法Ⅳ	声楽実技Ⅱ	人権教育論		
			ピアノ実技Ⅳ	教育評価		
			作曲演習Ⅱ	教職保健		
		音楽学演習Ⅱ				
4年次	前期	事前・事後指導				
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ				
		教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中学校一種免許状（美術））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・美術科における教科内容の基礎について理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・美術科における教科内容の基礎について理解する。 ・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・美術科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・美術科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・美術科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・美術科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、美術教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・美術科の教科内容と指導法の理解をもとに、美術教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中学校一種免許状（美術））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	彫刻基礎		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	工芸基礎		英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	絵画基礎 I		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	デザイン基礎 I		英語A-2	
				ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	絵画基礎 II		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	美術史概論			
		教育とICT活用				
		中等美術科指導法 I				
		中等美術科指導法 III				
	後期	教育課程論	絵画演習 I			
		道徳教育の理論	工芸演習			
		道徳教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
		中等美術科指導法 II				
		中等美術科指導法 IV				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	絵画演習 II			実技系教科指導探究
		特別支援教育の展開	造形実践演習			
		教育相談の理論及び方法				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	後期	事前・事後指導	絵画演習 III	人権教育論		
		中等教育実習 I・II		教育評価		
				教職保健		
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中学校一種免許状（保健体育））

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。 ・保健体育科における教科内容の基礎について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。 ・保健体育科における教科内容の基礎について理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・保健体育科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・保健体育科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・保健体育科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・保健体育科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・保健体育科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、保健体育教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・保健体育科の教科内容と保健体育科指導法の理解をもとに、英語教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中学校（保健体育）一種免許状）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	水泳		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	ネット型球技		英語A-1	
		教育心理学A(学習)	ダンス			
		教育心理学B(発達)	生理学(運動生理学を含む)			
		教職入門	衛生・公衆衛生学			
	後期	現代の教育と社会A	器械運動		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	陸上競技		英語A-2	
			ゴール型球技		ICTリテラシー	
			柔道			
			体育経営管理学			
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	体づくり運動		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	学校保健			
		教育とICT活用				
		中等保健体育科指導法I				
	後期	教育課程論	体育心理学			
		道徳教育の理論				
		道徳教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
		中等保健体育科指導法II				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	運動学(バイオメカニクスを含む)			
		特別支援教育の展開	体育原理			
		教育相談の理論及び方法	体育社会学			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		中等保健体育科指導法III				
	後期	事前・事後指導		人権教育論		
		中等教育実習 I・II		教育評価		
		中等保健体育科指導法IV		教職保健		
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中学校一種免許状（技術））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・技術科における教科内容の基礎について理解する。 ・技術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・技術科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・技術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・技術科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・技術科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、中学校専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・技術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・技術科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、技術教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童・生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・技術科の教科内容と指導法の理解をもとに、技術教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ(教諭)

<教育学部共同教員養成課程>(認定課程:中学校(技術)一種免許状)

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)			体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A			体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B			英語A-2	
				ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	木材加工 I (実習を含む)		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	木材加工 II			
		教育とICT活用	機 械 I (実習を含む)			
		中等技術科指導法 I	機 械 II			
			生物育成実習			
			情報とコンピュータI(実習を含む)			
			情報とコンピュータII			
	後期	教育課程論				
		道徳教育の理論	製 図 I			
		道徳教育の実践	製 図 II			
		生徒指導と学校カウンセリング	金属加工 I (実習を含む)			
		中等技術科指導法 II	金属加工II			
			木材加工実習			
			電 気 I (実習を含む)			
			電 気 II			
			生物育成 I B(実習を含む)			
			生物育成 II B			
3年次	前期	特別支援教育の基礎	情報とコンピュータ実習			実技系教科指導探究
		特別支援教育の展開				
		教育相談の理論及び方法				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		中等技術科指導法 III				
	後期	事前・事後指導	機 械 実 習	人権教育論		
		中等教育実習 I・II	電 気 実 習	教育評価		
	中等技術科指導法 IV		教職保健			
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（家庭科））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・被服学・食物学の基礎的知識を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・中等家庭科指導法の基礎的な知識・技能を身につける。 ・家庭経営学・住居学・保育学の基礎的知識を理解する。 ・食物学・住居学の発展的・応用的知識を理解する。 ・被服学の実験実習では原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・中等家庭科指導法の発展的・応用的な知識・技能を身につける。 ・被服学の発展的・応用的知識を理解する。 ・食物学の実験実習では、原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う ・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。 ・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。 ・課題に基づく1時間あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・中等家庭科指導法では、中等家庭科の諸問題についての課題解決力を身に付ける。 ・被服学の演習では、家庭生活の諸問題についての課題解決力を身に付ける。 ・住居学の発展的・応用的知識を理解する。 ・住居学の実験実習では原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・食物学の実験実習では、理論を深めるとともに、発展的・応用的な知識や技能を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・中等家庭科指導法では、中等家庭科の諸問題についての課題解決力を身に付ける。 ・家庭経営学の基礎的知識を理解する。 ・住居学の発展的・応用的知識を理解する。 ・家庭経営学・被服学・食物学・住居学・保育学の演習では、家庭生活の諸問題についての課題解決力を身に付ける。 ・実際の家庭生活における家庭経営学・被服学・食物学・住居学・保育学を理解するとともに、それらが教育実習で指導できるようにする。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（家庭科））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)			体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	被服学 I		体育・スポーツ科学b	
	現代の教育と社会B	食物学 I		英語A-2		
				ICTリテラシー		
2年次	前期	中等家庭科指導法 I	家族関係学		暮らしの中の憲法	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	家政学原論			
		教育方法学	被服実習			
		教育とICT活用	食物学 II			
			住居学 I			
	後期		保育学			
	後期	中等家庭科指導法 II	食物学実験・実習 I			
		教育課程論	食物学実験・実習 II			
		道德教育の理論				
		道德教育の実践				
生徒指導と学校カウンセリング						
3年次	前期	中等家庭科指導法 III	家庭経営学 I			
		特別支援教育の基礎	家庭経営学 II			
		特別支援教育の展開	住居学 II			
		教育相談の理論及び方法				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	後期	中等家庭科指導法 IV	家庭経営学演習	人権教育論		実技系教科指導探究
		事前・事後指導	住居学 III	教育評価		
		中等教育実習 I・II	住居計画学	教職保健		
		保育学演習 II				
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中学校一種免許状（英語））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・英語科における教科内容の基礎について理解する。 ・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・英語科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・英語科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・英語科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・英語科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、英語教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・英語科の教科内容と英語科指導法の理解をもとに、英語教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

<教育学部共同教員養成課程>（認定課程：中学校（英語）一種免許状）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)			体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	英語コミュニケーション論		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	英会話		英語A-2	
				ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	英語音声学		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	英語学			
		教育とICT活用				
		中等英語科指導法Ⅰ				
	後期	教育課程論	英語アカデミックライティング			
		道德教育の理論	英語学演習			
		道德教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
		中等英語科指導法Ⅱ				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	英語文学演習Ⅰ			
		特別支援教育の展開	英語文学概論			
		教育相談の理論及び方法				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		中等英語科指導法Ⅲ				
	後期	事前・事後指導	異文化理解	人権教育論		
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ	英語文学演習Ⅱ	教育評価		
		中等英語科指導法Ⅳ		教職保健		
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（国語））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・日本語、日本文学、漢文学、書写等の教科内容の基礎について理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う ・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験、実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。 ・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・国語科教育の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・国語科教育の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、国語科教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。 ・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、国語科教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免(国語)）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)			体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A			体育・スポーツ科学b	
現代の教育と社会B				英語A-2		
				ICTリテラシー		
2年次	前期	中等国語科指導法Ⅰ	国語学概説Ⅰ		暮らしの中の憲法	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	国文学概説			
		教育方法学	国文学講義Ⅰ(古典)			
		教育とICT活用	漢文学演習Ⅰ			
	後期	中等国語科指導法Ⅱ	国語学概説Ⅱ			
		国語科教育学演習A	国語学演習Ⅰ			
		教育課程論	国文学講読(古典)			
		道德教育の理論	漢文学概説Ⅰ			
		道德教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
3年次	前期	国語科教育学演習B	国語学概説Ⅲ			
		特別支援教育の基礎	国文学講義Ⅱ(近現代)			
		特別支援教育の展開	漢文学概説Ⅱ			
		教育相談の理論及び方法				
	後期	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		国語科教育学演習C	国文学特別演習Ⅰ(近現代)	人権教育論		
		国語科教育学演習D	国文学特別演習Ⅱ(近現代)	教育評価		
			教職保健			
4年次	前期	事前・事後指導				
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ				
		教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（地理歴史））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。 ・地歴科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・地歴科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・地歴科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・地歴科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う ・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。 ・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・地歴科を構成する内容について、教育の場で活かすことができるようになる。 ・ワークショップ型の授業実践を試みることができるようになる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・地歴科を構成する内容について、より深く理解・分析し、教育の場で活かせる力量を育成する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・社会科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。 ・地歴科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（地理歴史））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	日本史概説		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
	後期	教職入門				
		現代の教育と社会A	人文地理学概説		体育・スポーツ科学b	
2年次	前期	現代の教育と社会B			英語A-2	
			世界史概説		ICTリテラシー	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	自然地理学概説		暮らしの中の憲法	
3年次	前期	教育方法学				
		教育とICT活用	地誌学概説			
		中等社会科指導法(社会・地理歴史) I				
	後期	教育課程論				
		道德教育の理論				
		道德教育の実践				
4年次	前期	生徒指導と学校カウンセリング				
		中等社会科指導法(社会・地理歴史) II	日本史特講 I (史料論)			
		特別支援教育の展開	日本史演習 I (地域史調査)			
	後期	教育相談の理論及び方法	人文地理学特講			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	人文地理学演習 I			
			社会科教育演習 V			
5年次	前期		日本史演習 II (中世文書)	人権教育論		
			日本史調査実習	教育評価		
			自然地理学特講 I	教職保健		
	後期		社会科教育演習 VI			
		事前・事後指導	日本史演習 III (荘園調査)			
		中等教育実習 I・II				
6年次	教職実践演習					
	教職実践演習	日本史演習 IV (近世文書)			卒業研究	

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（公民））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。 ・公民科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・公民科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・公民科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・公民科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う ・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。 ・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・公民科を構成する内容について、教育の場で活かすことができるようになる。 ・ワークショップ型の授業実践を試みることができるようになる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・公民科を構成する内容について、より深く理解・分析し、教育の場で活かせる力量を育成する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・公民科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に迫及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。 ・公民科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（公民））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)			体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	法律学概説		英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A			体育・スポーツ科学b	
	現代の教育と社会B	倫理学概説		英語A-2		
				ICTリテラシー		
2年次	前期	中等社会科指導法(社会・公民)Ⅰ			暮らしの中の憲法	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	経済学概説			
		教育方法学				
		教育とICT活用	応用倫理学概説			
	後期	教育課程論	社会人間学特講			
		道德教育の理論	応用倫理学特論			
		道德教育の実践	政治学概説Ⅰ			
	生徒指導と学校カウンセリング					
3年次	前期	中等社会科指導法(社会・公民)Ⅱ	政治学特講Ⅰ			
		特別支援教育の基礎	経済学演習Ⅰ			
		特別支援教育の展開	社会科教育演習Ⅰ			
		教育相談の理論及び方法				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	後期		経済学特講	人権教育論		
			経済学演習Ⅱ	教育評価		
			地域調査実習	教職保健		
			社会科教育演習Ⅱ			
			中等社会科教育特講(租税教育論)			
4年次	前期	事前・事後指導				
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ	経済学演習Ⅲ			
		教職実践演習				
	後期	教職実践演習	経済学演習Ⅳ			卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（数学））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。 ・数学科における教科内容の基礎について理解を深める。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・数学科における教科内容の基礎について理解を深める。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・数学科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・数学科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・数学科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・数学科の授業についての認識を深め、学習指導要領を理解し、教育実習の準備に入る。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・数学科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・数学科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を實踐できる。 ・数学科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、数学教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・数学科の教科内容と数学科指導法の理解をもとに、数学教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（数学））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	代数学基礎		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	解析学基礎		英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	代数学序論		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	幾何学序論		英語A-2	
		解析学序論		ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	代数学概論		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	幾何学概論			
		教育とICT活用	解析学概論			
		中等数学科指導法Ⅰ	コンピュータ			
	後期	教育課程論	代数学講義			
		道德教育の理論	幾何学講義			
		道德教育の実践	解析学講義			
		生徒指導と学校カウンセリング	確率統計学			
		中等数学科指導法Ⅱ				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	代数学特論			
		特別支援教育の展開	幾何学特論			
		教育相談の理論及び方法	解析学特論			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	応用数学特論			
	後期	事前・事後指導		人権教育論		数学特論
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ		教育評価		
				教職保健		
4年次	前期	教職実践演習				数学研究Ⅰ
						数学教育学研究Ⅰ
	後期	教職実践演習				卒業研究
						数学研究Ⅱ
					数学教育学研究Ⅱ	

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（理科））

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。 ・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。 ・理科全般を学ぶ上での基盤となるコンピュータ活用による解析法を習得する。 ・物理学・化学・生物学の基礎知識を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・自然現象との関連など理科に関する一般知識を習得する。 ・物理学・化学・生物学・地学に関する基礎知識を習得する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・初等授業の実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・物理学・生物学に関する実験技法を習得する。 ・生物学・地学に関する基礎知識を習得する。 ・物理学・化学に関する専門知識を習得する。 ・理科教育法について基礎的知識を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・化学・地学に関する実験技法を習得する。 ・物理学・生物学・地学に関する専門知識を習得する。 ・理科教育法(教材・教具・コミュニケーション等)についての基礎知識や技法を習得する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。 ・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。 ・カウンセリングに関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験、実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけでの実践力を養う。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・物理学・化学・生物学・地学に関する専門知識を習得する。 ・理科教育法(教材・教具・コミュニケーション等)についての応用知識や技法を習得する。 ・物理学・化学・生物学・地学に関する実験技法を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・児童生徒の心身の発達に関する現代的な教育課題等について理解する。 ・物理学・化学・生物学・地学に関する発展的内容を習得する。 ・理科教育法(教材・教具・コミュニケーション等)についての応用知識や技法をより高度な水準で習得する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的な教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的な教育課題と関連させながら、自律的に迫及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（理科））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次	具体的な科目名称						
	各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目		
年次	時期						
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	基礎物理学A		体育・スポーツ科学a		
		教育原理B(歴史・制度)	基礎化学A		英語A-1		
		教育心理学A(学習)	基礎化学B				
		教育心理学B(発達)					
		教職入門					
	後期	理科教育実践入門	基礎生物学A		体育・スポーツ科学b		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	基礎生物学B		英語A-2		
		教育方法学	基礎地学A		ICTリテラシー		
		教育とICT活用	基礎地学B				
			基礎物理学B				
		基礎物理学演習					
2年次	前期	中等理科指導法Ⅰ	物理学Ⅰ		暮らしの中の憲法		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	化学Ⅰ				
		教育方法学					
		教育とICT活用					
	後期	中等理科指導法Ⅱ	物理学Ⅱ				
		教育課程論	生物学Ⅰ				
		道徳教育の理論	地学Ⅰ				
		道徳教育の実践					
		生徒指導と学校カウンセリング					
3年次	前期	特別支援教育の基礎	生物学Ⅱ				
		特別支援教育の展開	地学Ⅱ				
		教育相談の理論及び方法	物理学実験A				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	物理学実験B				
			化学実験A				
			化学実験B				
			生物学実験A				
			生物学実験B				
	後期			化学Ⅱ	人権教育論		理科基礎研究
					教育評価		
					教職保健		
4年次	前期	事前・事後指導					
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ					
		教職実践演習					
	後期	教職実践演習				卒業研究	

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（音楽））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。 ・ピアノや声楽、及び音楽理論やソルフェージュなどの基礎的内容の学修を通じて、これから音楽科教育を学ぶための基礎力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・ピアノや声楽、及び音楽理論やソルフェージュに加え音楽史の基礎的内容の学修を継続し、音楽科教育を学ぶための基礎力を向上させる。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・音楽科教育を学ぶための基礎力を向上させるとともに、作曲法の基礎を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・音楽の知識と技能両面の能力をさらに発展させるとともに、合唱や合奏の指導力を習得する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。 ・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。 ・カウンセリングに関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけての実践力を養う。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・音楽の知識と技能の実践的能力を更なる深化させるとともに、音楽科教育における実践力と応用力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・音楽の知識と技能の実践的能力を更なる深化させるとともに、音楽科教育における実践力と応用力を身に付ける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・これまで学んできた音楽の専門的知識や技能を総合し、学校教育現場での実践力へと発展させる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。 ・音楽および音楽教育に関する研究課題を明確にし、これまでの学修成果を統合した卒業研究をまとめる。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（音楽））

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	ソルフェージュ基礎		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	声楽基礎		英語A-1	
		教育心理学A(学習)	ピアノ基礎Ⅰ			
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	ソルフェージュ応用B		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	声楽基礎Ⅲ		英語A-2	
			ピアノ基礎Ⅲ		ICTリテラシー	
			器楽基礎(和楽器を含む)			
			音楽理論BⅠ			
		音楽史Ⅰ				
2年次	前期	中等音楽科指導法Ⅰ	声楽基礎Ⅳ		暮らしの中の憲法	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	ピアノ実技Ⅰ			
		教育方法学	音楽理論A			
		教育とICT活用	作曲法			
			日本・民族音楽概説			
	後期	中等音楽科指導法Ⅱ	声楽基礎Ⅴ			
		教育課程論	合唱			
		道德教育の理論	ピアノ実技Ⅱ			
		道德教育の実践	合奏			
		生徒指導と学校カウンセリング	音楽理論BⅡ			
		音楽史Ⅱ				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	声楽実技Ⅰ		実技系教科指導探究	
		特別支援教育の展開	ピアノ実技Ⅲ			
		教育相談の理論及び方法	伴奏法演習Ⅰ			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	指揮法Ⅰ			
			作曲演習Ⅰ			
			音楽学演習Ⅰ			
	後期			声楽実技Ⅱ	人権教育論	
				ピアノ実技Ⅳ	教育評価	
				作曲演習Ⅱ	教職保健	
				音楽学演習Ⅱ		
4年次	前期	事前・事後指導				
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ				
		教職実践演習				
	後期	教職実践演習			卒業研究	

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（美術））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・美術科における教科内容の基礎について理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・美術科における教科内容の基礎について理解する。 ・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・美術科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・美術科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・美術科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・美術科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、美術教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・美術科の教科内容と指導法の理解をもとに、美術教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（美術））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	彫刻基礎		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	絵画基礎 I		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	デザイン基礎 I		英語A-2	
				ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	絵画基礎 II		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	美術史概論			
		教育とICT活用				
		中等美術科指導法 I	デザイン基礎 II			
		中等美術科指導法 II				
	後期	教育課程論	絵画演習 I			
		道徳教育の理論				
道徳教育の実践						
		生徒指導と学校カウンセリング				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	絵画演習 II			実技系教科指導探究
		特別支援教育の展開	造形実践演習			
		教育相談の理論及び方法				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	後期	事前・事後指導	絵画演習 III	人権教育論		
		中等教育実習 I・II		教育評価		
				教職保健		
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（書道））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・日本語、日本文学、漢文学、書写等の教科内容の基礎について理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。 ・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う ・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。 ・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。 ・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。 ・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・高等学校芸術科書道の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・高等学校芸術科書道の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、書道の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。 ・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、書道の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（書道））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	書道 I		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	書道 II		英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	書写		体育・スポーツ科学b	
	現代の教育と社会B	書道史		英語A-2		
		書論・鑑賞		ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	国文学概説		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	国文学論			
		教育とICT活用	国文学講義 I (古典)			
			国文学演習 I			
			漢文学演習 I			
	後期	書道科指導法 I	国文学講読(古典)			
		教育課程論	国文学演習 II			
		教育相談の理論及び方法	漢文学概説 I			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	漢文学演習 II			
			書道 III			
		書道 IV				
3年次	前期	書道科指導法 II	国文学講義 II (近現代)			
		特別支援教育の基礎	国文学演習 III			
		特別支援教育の展開	漢文学概説 II			
		教育相談とキャリア教育				
	後期		国文学演習 IV	人権教育論		
			国文学特別演習 I (近現代)	教育評価		
			国文学特別演習 II (近現代)	教職保健		
			漢文学演習 III			
			漢文学特別演習 I			
			漢文学特別演習 II			
4年次	前期	事前・事後指導				
		中等教育実習 I・II				
		教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（保健体育））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。 ・保健体育科における教科内容の基礎について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。 ・保健体育科における教科内容の基礎について理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・保健体育科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・保健体育科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・保健体育科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・保健体育科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・保健体育科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、保健体育教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・保健体育科の教科内容と保健体育科指導法の理解をもとに、英語教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（保健体育））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	水泳		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	ネット型球技		英語A-1	
		教育心理学A(学習)	ダンス			
		教育心理学B(発達)	生理学(運動生理学を含む)			
		教職入門	衛生・公衆衛生学			
	後期	現代の教育と社会A	器械運動		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	陸上競技		英語A-2	
			ゴール型球技		ICTリテラシー	
			柔道			
			体育経営管理学			
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	体づくり運動		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	学校保健			
		教育とICT活用				
		中等保健体育科指導法I				
	後期	教育課程論	体育心理学			
		道德教育の理論				
		道德教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
		中等保健体育科指導法II				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	運動学(バイオメカニクスを含む)			
		特別支援教育の展開	体育原理			
		教育相談の理論及び方法	体育社会学			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	後期	事前・事後指導		人権教育論		
		中等教育実習 I・II		教育評価		
				教職保健		
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（家庭科））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。 ・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。 ・教科内容を理解する。 ・被服学・食物学の基礎的知識を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。 ・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。 ・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。 ・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。 ・中等家庭科指導法の基礎的な知識・技能を身につける。 ・家庭経営学・住居学・保育学の基礎的知識を理解する。 ・食物学・住居学の発展的・応用的知識を理解する。 ・被服学の実験実習では原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。 ・学習指導要領について理解する。 ・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。 ・中等家庭科指導法の発展的・応用的な知識・技能を身につける。 ・被服学の発展的・応用的知識を理解する。 ・食物学の実験実習では、原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う ・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。 ・教科に関する実験、実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。 ・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。 ・課題に基づく1時間あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・中等家庭科指導法では、中等家庭科の諸問題についての課題解決力を身に付ける。 ・被服学の演習では、家庭生活の諸問題についての課題解決力を身に付ける。 ・住居学の発展的・応用的知識を理解する。 ・住居学の実験実習では原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・食物学の実験実習では、理論を深めるとともに、発展的・応用的な知識や技能を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。 ・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。 ・中等家庭科指導法では、中等家庭科の諸問題についての課題解決力を身に付ける。 ・家庭経営学の基礎的知識を理解する。 ・住居学の発展的・応用的知識を理解する。 ・家庭経営学・被服学・食物学・住居学・保育学の演習では、家庭生活の諸問題についての課題解決力を身に付ける。 ・実際の家庭生活における家庭経営学・被服学・食物学・住居学・保育学を理解するとともに、それらが教育実習で指導できるようにする。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（家庭科））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)			体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	被服学 I		体育・スポーツ科学b	
	現代の教育と社会B	食物学 I		英語A-2		
				ICTリテラシー		
2年次	前期	中等家庭科指導法 I	家族関係学		暮らしの中の憲法	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	家政学原論			
		教育方法学	被服実習			
		教育とICT活用	食物学 II			
			住居学 I			
			保育学			
	後期	中等家庭科指導法 II	食物学実験・実習 I			
		教育課程論	食物学実験・実習 II			
		道德教育の理論				
		道德教育の実践				
	生徒指導と学校カウンセリング					
3年次	前期	特別支援教育の基礎	家庭経営学 I			
		特別支援教育の展開	家庭経営学 II			
		教育相談の理論及び方法	住居学 II			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	後期	事前・事後指導	家庭経営学演習	人権教育論		実技系教科指導探究
		中等教育実習 I・II	住居学 III	教育評価		
			住居計画学	教職保健		
		保育学演習 II				
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（工業））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・工業科における教科内容の基礎について理解する。 ・工業科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・工業科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・工業科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・工業科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・工業科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、中学校専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・工業科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・工業科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、工業科教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童・生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・工業科の教科内容と指導法の理解をもとに、工業科教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（工業））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)			体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A			体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B			英語A-2	
				ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	木材加工Ⅰ(実習を含む)		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	木材加工Ⅱ			
		教育とICT活用	機械Ⅰ(実習を含む)			
			機械Ⅱ			
			情報とコンピュータ(実習を含む)			
			情報とコンピュータⅡ			
	後期	教育課程論	製図Ⅰ			
		道徳教育の理論	製図Ⅱ			
		道徳教育の実践	金属加工Ⅰ(実習を含む)			
		生徒指導と学校カウンセリング	金属加工Ⅱ			
			木材加工実習			
			電気Ⅰ(実習を含む)			
			電気Ⅱ			
3年次	前期	特別支援教育の基礎	情報とコンピュータ実習			実技系教科指導探究
		特別支援教育の展開				
		教育相談の理論及び方法				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		工業科指導法Ⅰ				
	後期	事前・事後指導	機械実習	人権教育論		
			電気実習	教育評価		
		工業科指導法Ⅱ	職業指導	教職保健		
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（英語））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・英語科における教科内容の基礎について理解する。 ・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・英語科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・英語科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・英語科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・英語科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、英語教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・英語科の教科内容と英語科指導法の理解をもとに、英語教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（英語））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)			体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	英語コミュニケーション論		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	英会話		英語A-2	
				ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	英語音声学		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	英語学			
		教育とICT活用				
		中等英語科指導法Ⅰ				
	後期	教育課程論	英語アカデミックライティング			
		道徳教育の理論	英語学演習			
		道徳教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
		中等英語科指導法Ⅱ				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	英語文学演習Ⅰ			
		特別支援教育の展開	英語文学概論			
		教育相談の理論及び方法				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	後期	事前・事後指導	異文化理解	人権教育論		
		中等教育実習Ⅰ・Ⅱ	英語文学演習Ⅱ	教育評価		
				教職保健		
4年次	前期	教職実践演習				
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部養護教諭養成課程＞（認定課程：中学校一種免許状（保健））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・保健科における教科内容の基礎について理解する。 ・保健科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・保健科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・保健科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・保健科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・保健科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・保健科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・保健科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、保健科教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・保健科の教科内容と保健科指導法の理解をもとに、保健教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

<教育学部養護教諭養成課程>（認定課程：中学校一種免許状（保健））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	衛生学		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)			英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	生理学		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	公衆衛生学 I		英語A-2	
				ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	生理学実習		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	栄養学(食品学を含む。)			
		教育とICT活用	学校保健 I (小児保健を含む。)			
	後期	教育課程論	学校保健 II			
		道德教育の理論	公衆衛生学 II			
		道德教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
		中等保健科教育法 I				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	精神保健学			
		特別支援教育の展開	公衆衛生学実習			
		教育相談の理論及び方法	予防医学			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	学校救急処置 I			
		中等保健科教育法 II	学校救急処置 II			
	後期	事前・事後指導	学校安全	人権教育論		
		中等教育実習 I・II		教育評価		
		中等保健科教育法 III		教職保健		
		中等保健科教育法 IV				
4年次	前期	教職実践演習	学校保健 III			
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部養護教諭養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（保健））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・保健科における教科内容の基礎について理解する。 ・保健科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・保健科における教科内容の基礎について理解を深める。 ・保健科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・保健科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。 ・保健科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。 ・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・保健科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。 ・保健科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。 ・教育実習の体験と認識を深め、保健科教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・保健科の教科内容と保健科指導法の理解をもとに、保健教員としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部養護教諭養成課程＞（認定課程：高等学校一種免許状（保健））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	解剖学		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	衛生学		英語A-1	
		教育心理学A(学習)				
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	生理学		体育・スポーツ科学b	
		現代の教育と社会B	公衆衛生学 I		英語A-2	
				ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	生理学実習		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	微生物学・免疫学			
		教育とICT活用	栄養学(食品学を含む。)			
			学校保健 I (小児保健を含む。)			
	後期	教育課程論	学校保健 II			
		道德教育の理論	公衆衛生学 II			
		道德教育の実践				
		生徒指導と学校カウンセリング				
		中等保健科教育法 I				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	精神保健学			
		特別支援教育の展開	公衆衛生学実習			
		教育相談の理論及び方法	予防医学			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	学校救急処置 I			
		中等保健科教育法 II	学校救急処置 II			
	後期	事前・事後指導	学校安全	人権教育論		
		中等教育実習 I・II		教育評価		
				教職保健		
4年次	前期	教職実践演習	学校保健 III			
	後期	教職実践演習				卒業研究

様式第7号ウ

＜教育学部養護教諭養成課程＞（認定課程：養護教諭一種免許状）

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。 ・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。 ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。 ・人体の構造について理解する。 ・養護教諭に必要なとされる資質・能力、職務と役割について理解することができる。 ・保健室の役割と機能について理解することができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。 ・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。 ・養護教諭に必要な、集団における健康についての概要や解析方法を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・養護教諭の具体的な職務の基本と実際及び学校保健を取り巻く教職員の役割を理解する。 ・養護教諭の職務について、さらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・養護教諭に必要な看護技術（観察技術、安全管理技術、創傷の処置に関わる技術）について理解できる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・養護教諭の職務についての認識を深め、模擬保健室での授業などを行って、養護実習に備える。 ・養護実習に取り組み、専門の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・保健管理活動、保健室運営、保健教育及び健康相談活動について実践的な技能を習得する。 ・病院における看護の役割と具体的活動を理解する。 ・体験と認識を深め、養護教諭に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・養護教諭としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・保健管理、保健室運営、保健教育及び健康相談活動の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。 ・養護実習での体験内容と理解をもとに、養護教諭としての実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。

様式第7号ウ（養護）

＜教育学部養護教諭養成課程＞（認定課程：養護教諭一種免許状）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		教育の基礎的理解に関する科目等	養護に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	衛生学		体育・スポーツ科学a	
		教育原理B(歴史・制度)	養護学概論Ⅰ		英語A-1	
		教育心理学A(学習)	解剖学			
		教育心理学B(発達)				
		教職入門				
	後期	現代の教育と社会A	生理学		体育・スポーツ科学b	
現代の教育と社会B		公衆衛生学Ⅰ		英語A-2		
				ICTリテラシー		
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	生理学実習		暮らしの中の憲法	
		教育方法学	栄養学(食品学を含む。)			
			微生物学・免疫学			
			学校保健Ⅰ(小児保健を含む。)			
			養護学概論Ⅱ			
	後期	教育課程論	学校保健Ⅱ			
		道徳教育の理論	公衆衛生学Ⅱ			
		道徳教育の実践	薬理学			
生徒指導と学校カウンセリング		看護学概説Ⅰ				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	精神保健学			
		特別支援教育の展開	予防医学			
		教育相談の理論及び方法	健康相談活動の理論			
			学校救急処置Ⅰ			
			学校救急処置Ⅱ			
			看護学概説Ⅱ			
			看護学実習Ⅰ			
		看護学実習Ⅱ				
	後期	養護実習	学校安全	人権教育論		
			臨床実習Ⅰ	教育評価		
			教職保健			
4年次	前期	教職実践演習	学校保健Ⅲ			
	後期	教職実践演習			卒業研究	

様式第7号ウ

<教育学部共同教員養成課程>(認定課程:特別支援学校一種免許状)(基礎免許状となる課程:小学校一種免許状)

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての基礎的理解を図る。 ・教職に関する基礎的素養(語学, スポーツ科学)について理解する。 ・教職の意義や教師の役割, 職務内容, 生徒に対する責務を理解する。 ・幼児・児童, 生徒の心身の発達について理解する。 ・国語、音楽の小学校教科内容の基礎について理解する ・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。 ・特別支援教育の基礎について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養について理解する。 ・教職に関する基礎的素養(語学, 情報、スポーツ科学)について理解する。 ・外国語、家庭科の小学校教科内容の基礎について理解する。 ・小学校の国語、音楽の指導法の目標・内容・方法・評価を理解し, 学習指導を構想する。 ・知的障害児教育について基礎的知識を理解する。 ・肢体不自由児の心理・生理・病理及び肢体不自由教育に関する基礎的知識を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法を含む)について理解する。 ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。 ・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。 ・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。 ・算数、体育、書写、生活の小学校教科内容について理解する。 ・小学校の外国語、家庭科の指導法の目標・内容・方法・評価を理解し, 学習指導を構想する。 ・知的障害児の心理・生理・病理について基礎的知識を理解する。 ・肢体不自由児への支援及び学習指導を行うことができる知識や技能を修得する。 ・病弱児の心理・生理・病理及び病弱児教育に関する基礎的知識を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。 ・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。 ・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。 ・社会、理科、図画工作の小学校教科内容について理解する。 ・小学校の算数、体育、生活科の指導法の目標・内容・評価を理解し, 学習指導を構想する。 ・発達障害の特性や支援・指導法に関する基礎的知識を理解する。 ・病弱児への支援及び学習指導を行うことができる知識や技能を修得する。 ・重複障害のある子どもの特性や支援・指導法に関する基礎的知識を理解する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。 ・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。 ・小学校の社会、理科、図画工作の指導法の目標・内容・評価を理解し, 学習指導を構想する。 ・知的障害児に対する支援及び学習指導を行うことができる知識や技能を修得する。 ・知的障害児に対するアセスメントの具体的方法について理解する。 ・特別支援学校での教育実習を経験し, 目標・内容・方法・評価のあり方を理解し, 具体的な指導内容を構想、実施する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的教育課題に関する探究学習を通じ, 学校教育の先端的取り組みの内容や課題について理解する。 ・教科に関するより専門的な考察を実施することで, 学習指導, 教科指導をより発展的に理解する。 ・発達障害について最新の研究知見に基づいた脳科学の知見を学ぶ。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。 ・教員としての資質をさらに発展させるために, 講義, 演習等を通じて補充・深化・統合を図る。 ・児童・生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに, 自己の問題意識を深める。 ・小学校での教育実習を通じ, 小学校各教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。 ・自己の問題意識に基づき, 現代的教育課題と関連させながら, 自律的に追及する。 ・これからの学校教育と自己の課題について, 集団的な議論を踏まえ, 自己課題を追求する。

様式第7号ウ（特支）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：特別支援学校一種免許状）（基礎免許状となる課程：小学校一種免許状）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					その他教職課程 に関連のある科 目
		基礎となる教諭の免許状に関する履修カリキュラム					
年次	時期	教育の基礎的理解 に関する科目等	教科(領域)に関す る専門的事項	大学が独自に設定 する科目	施行規則第66条の 6に関する科目	特別支援教育に関する科目	
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	初等国語		体育・スポーツ科学 a	特別支援教育基礎論	
		教育原理B(歴史・制度)	初等音楽		英語A-1		
		教育心理学A(学 習)					
		教育心理学B(発 達)					
		教職入門					
	後期	現代の教育と社会A	初等外国語		体育・スポーツ科学 b	知的障害児教育総論	
		現代の教育と社会B	初等家庭		英語A-2	肢体不自由児教育総論	
		初等国語科指導法 I			ICTリテラシー	肢体不自由児の心理・生理・病理	
		初等国語科指導法 II					
		初等音楽科指導法 I					
		初等音楽科指導法 II					
2年次	前期	特別活動及び総合 的な学習の時間の 指導法	初等算数		暮らしの中の憲法	知的障害児の心理・生理・病理	
		教育方法学	初等体育			肢体不自由児指導法	
		教育とICT活用	初等書写			病弱児教育総論	
		初等外国語科指導法 I	初等生活			病弱児の心理・生理・病理	
		初等外国語科指導法 II					
		初等家庭科指導法 I					
		初等家庭科指導法 II					
	後期	教育課程論	初等社会			病弱児指導法	
		道徳教育の理論	初等理科			発達障害児教育総論	
		道徳教育の実践	初等図画工作			重複・視覚・聴覚障害児教育総論	
		生徒指導と学校カウンセリング					
		初等算数科指導法 I					
		初等算数科指導法 II					
		初等体育科指導法 I					
		初等体育科指導法 II					
		初等生活科指導法 I					
		初等生活科指導法 II					
3年次	前期	特別支援教育の基礎				知的障害児指導法	
		特別支援教育の展開				知的障害児アセスメント論	
		教育相談の理論及 び方法				障害児行動分析学	
		進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法					
		初等図画工作科指導法 I					
		初等図画工作科指導法 II					
		初等社会科指導法 I					
		初等理科指導法 I					
		初等社会科指導法 II					
		初等理科指導法 II					
	後期	事前・事後指導		人権教育論		発達障害児脳科学論	
				教育評価		障害児教育実習	
				教職保健			
4年次	前期	初等教育実習 I・II					
	後期	教職実践演習				卒業研究	